

猫喘息とは

気管支に炎症が起こることで空気の通り道が狭くなり、呼吸困難に陥る疾患です。治療でもとに戻るものですが、慢性化すると気管支が細くなったまま元に戻らなくなってしまいます。ヒトでは小児喘息が知られていますが、猫ちゃんでは2～8歳前後で発症することが多いです。

《原因》

喘息の原因ははっきりと判っていませんが、アレルギーによるものが多いとされています。そのほか環境の中の刺激がきっかけで発症することもあります。

- ハウスダスト
- 花粉
- 消臭剤
- ヘアスプレー
- たばこの煙
- 香水
- 新しい家具
- 引越し
- 猫砂の粉塵 等

《症状》

- 咳
- 呼吸が荒い、速い
- 疲れやすい
- 開口呼吸

咳か嘔吐か判断が付きにくい場合は動画を撮って獣医師に見てもらいましょう。

開口呼吸が持続するのは緊急性が高い状態です。すぐにご連絡ください。

《診断》

レントゲンで肺や気管支の状態を確認します。また、他に咳をする疾患(心臓病など)を除外するためにエコー検査を行います。アレルギーの特定のために血液を外部検査センターに送る場合もあります(lgE検査)

《治療》

◆ 内科治療

抗アレルギー作用、また気管支の消炎作用を目的としてステロイド剤を使用します。強い用量を継続すると糖尿病のリスクが高くなるため、症状に合わせて減薬します。また、免疫抑制剤や抗菌剤、気管支拡張剤を使用する場合もあります。

◆ ネブライザー

気管支拡張剤などのお薬を霧状にして気管に直接届ける治療です。病院で行う他、治療が長期化する場合やなるべくストレスを避けたい場合、通院が難しい場合などは、ネブライザー用の機械を購入してご自宅で行う場合もあります。

◆ 吸入

猫ちゃんの吸入専用器具(エアロカット)を使用して1日1～2回程度吸入を行います。

大抵の猫ちゃんは音やマスクをかぶせられるのを嫌がったり怖がったりしてしまうため、音や器具に慣れるまで練習が必要です。どうしても嫌がってしまう場合は興奮が呼吸状態に障りますので、別の治療法を検討しましょう。

◆ 住環境を整える

生活環境中に原因がありそうな場合は、環境を整えましょう。

ハウスダストや花粉が原因の場合は全く無くす、と言うのは難しいので、少しでも減らせるようこまめなお掃除を心がけましょう。

消臭剤やたばこなどは猫ちゃんがいるところでは使わないことや、風向きに注意することをご家族で相談してみてください。

